

部活動 “最新の自分が最高の自分”

“行くぜ。関東” カヌー部×水球部

今号は、関東大会に出場するカヌー部と水球部を特集。意気込みと工夫を聞きました。(編集 教頭)



Q 冬を越えて、今春、個人として、そしてチーム(部)として、成長したところはどこですか？

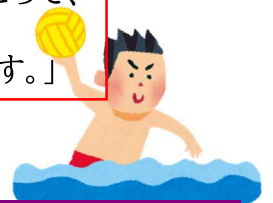
カヌー部

小暮恭輔「個人としては精神面です。冬の厳しい練習を引っ張っていかねばならない学年となり、いかに全員で頑張れるかが大切だと思っていたのでその責任感はとても感じていました。それを踏まえて精神的に成長したと思います。チームとしては厳しいウエイトトレーニングなどで身についた筋力だと思います。冬練習の最初と比べてみんな強く漕げるようになりました。」

水球部

戸塚徠善「冬季は水球の基礎を改めて学ぶことによる戦術強化やウエイトトレーニング、ボールを使ったチームスポーツに励むことで、チームでより仲を深められ、成長できました。」

米田伊澄「個人としてはもう少し、後もう少し頑張ってみようという粘り強さが身についたところで、部としては楽しむ時は全力で楽しみ、練習や大会に対して全力で臨めるころだと思います。」



Q 関東大会出場を決めましたが、どんな課題が見つかりましたか

カヌー部

米田伊澄「気持ちで負けてしまうことです。どうしても勝てない相手に対して、気持ちまで負けてしまったら一生勝てなそうと思い込んでしまうので気持ちも速さも勝ってやる！と自分を励まして大会に臨みたいです。」

水球部

戸塚徠善「ボールコントロール不足によるパスミスや、持久力、集中力の低下で簡単なミスをしてしまうといった課題を見つけました。」

小暮恭輔「レース終盤の追い上げ力が課題として見つかりました。ラストは気持ちの強さも大きく出るので、普段の練習から気持ちを強く持ち続けることが大切だと感じました。」

Q 関東大会での目標を教えてください。

カヌー部

小暮恭輔「個人ではカナディアンペア、フォアで優勝。チームでは男子総合優勝、女子総合3位以内。」
米田伊澄「女子は人数が少ないですが総合上位、個人としては全ての種目で入賞を目指しています。」

水球部

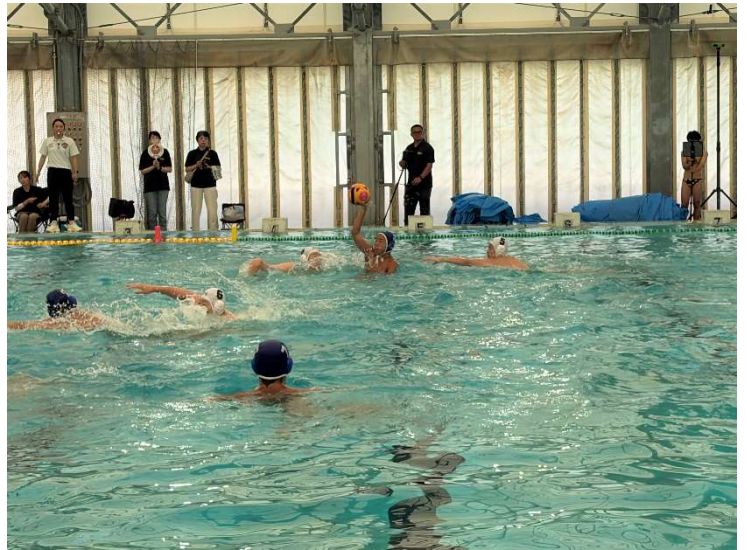
戸塚徠善「～関2(two)Win～関東大会で2勝することが目標です。」

Q 関東大会での目標達成するために、また課題を克服しワンランク上を目指すために、部として(または個人として)どのような考えをもち工夫していますか？

カヌー部

小暮恭輔「部としてはペア(2人乗り)やフォア(4人乗り)の練習をする際に、コミュニケーションをしっかりとるようにしています。感覚が全員合うと船の進みが変わってきたりするので、些細なことでもしっかりコミュニケーションを取るようにしています。」

水球部



米田伊澄「繰り返しになりますが、自分を励まして気持ちで負けないように、そして大会を全力で楽しめるようにスタート直前はその日のコンディションを考えるという工夫をしています。」

戸塚徠善「一人一人の課題を見つけつつ顧問の先生の指示を聞きチームメイト同士で話し合うといった雰囲気作りを心がけていました。」

Q 顧問の先生へ MESSAGE

カヌー部

小暮恭輔「総合優勝目指して全力で漕ぎ抜きます。応援、サポートよろしくお願いします。」



米田伊澄「一緒に部活をした期間は2ヶ月と短いですが、
関東大会精一杯頑張りますので応援よろしくお願いします！！」

水球部

戸塚徠善「常日頃ご指導いただきありがとうございます。先生の指導のおかげで水球を知ることができ、自分たちなりに目標を立てることができました。今後とも、よろしくお願いします。」

Q 最後に、関東大会に向けて意気込みを

カヌー部 小暮恭輔「今までの努力を出し尽くせるようにがんばります！」 米田伊澄「全力で楽しむ！！」

水球部 戸塚徠善「もう弱小校とは言わせない」

We're gonna step and go!